

STOP！スリップ事故

～積雪、道路凍結時の交通事故防止～

平成28年1月24日未明から27日にかけて長崎県内は大寒波に見舞われ、観測開始以来、最深の17センチの積雪を記録し、交通機関は完全に麻痺する事態となりました。

県内の一般道路は、チェーンスノー規制を実施し、長崎自動車道等の自動車専用道路では、長時間の通行止めとなりました。

積雪、道路凍結時
ドライバーとして
注意することは？



1 気象状況、道路環境の把握

○天候・気温・路面の状況など

2 チェーン・スノータイヤ等の 滑り止め装置の装着

3 「急」がつく運転の禁止

○急発進・急制動・急ハンドル

4 路面環境に応じた適正な運転

○橋、カーブ、坂道は特に注意
○十分な車間距離をとしましょう

積雪、凍結道路を運転する際のルールがあります

- ・道路交通法第71条第6号
- ・長崎県道路交通法施行細則第14条1号（運転者の遵守事項）

積雪及び凍結している道路において自動車又は原動機付自転車を運転するときは、タイヤチェーン、スノータイヤ等を取り付けて滑り止めの措置を講ずること。

罰則： 5万円以下の罰金

反則金：大型7千円、普通6千円、二輪6千円、原付5千円

- ・ 不要不急な車の運転を控え、やむを得ず運転する場合は、チェーン・スノータイヤを装着しましょう。
- ・ 無理をせず、公共交通機関を利用しましょう。

長崎県警察本部
交通部交通規制課